

第1回高知県中山間地域再興ビジョン推進委員会（7/10）でいただいたご意見に関連する報告事項

	意見概要	報告事項
1	・（小笠原委員）中山間地域で活躍する女性や若者について、具体的なイメージがわきにくい。地域で活躍しているロールモデルのような事例を示していくことで、高知県の魅力も上がるのではないかな。 ・（寺村委員）高知の独自性をもっと打ち出すとよいのではないかな。「女性が元気な地域」など。女性活躍にもつながるのでは。 ・（西村委員）他県にはない高知県の特徴や、支援制度などをまとめて、「チャレンジができる舞台」として、若者向けに高知県を打ち出すのも良いのではないかな。 ・（西村委員）地域の仕事を知らせてもらうにあたっては、その内容だけでなく、実際に人がいきいきと働く姿や、やりがいの部分なども発信することで、もっと興味を持ってもらえるのではないかなと思う。	【人口減少対策としてのプロモーションの強化】（移住促進課、人権・男女共同参画課） ・今年度実施した若年層へのアンケート・ヒアリング調査結果を踏まえ、令和6年度9月補正予算において、県内で希望をかなえて活躍している若者の姿や、「共働き・子育て」の県民運動によって変わりゆく高知を積極的に発信することで、Uターン・Iターンに向けた行動の喚起などにつながるプロモーションの実施にかかる予算を計上。 取組①：多様な価値観に対応できる本県の強み・可能性を発信することにより、“若者・女性が活躍できる高知県”をPRするプロモーションを実施。 取組②：若者や女性の多様な価値観が尊重され、すべての人が家庭でも仕事でも活躍できる「共働き・子育て」を県民運動として推進するための県内プロモーションの強化。 （参考）広報特別番組「若者がキラリ☆輝く中山間」（中山間地域対策課） ・11/23（土）18時30分～放映予定（さんさんテレビ） 県内中山間地域で活躍する若者を3組紹介 （参考）県内の支援制度等をまとめて紹介している媒体 ・高知家でくらす https://kochi-iju.jp/ 農林水産業への就業、起業などの各種支援制度を掲載
2	（小田切委員長）育休、産休の問題も含む少子化対策においては、国の役割が大きい。ビジョンの取組と合わせて、国への政策要望も積極的にすべき。	【国への政策提言の状況】（政策企画課） ・本年5月に、国に対して、東京一極集中の是正に向けた大都市機能の地方分散、子育て支援に係る経済的支援の全国一律の制度化と支援水準の充実、女性活躍のさらなる推進等を求める政策提言を実施。 ・また、全国知事会とも連携し、国における人口減少対策の司令塔の設置等を求める政策提言も実施。 ・国においても、地方創生を最重要課題として掲げる石破内閣が成立し、新たに「新しい地方経済・生活環境創生本部」の設置などの動きがあることから、こうした動きなどと呼応して、全国知事会とも連携し、国の責任で東京一極集中の是正に本気で取り組んでいただくよう積極的に政策提言を行っていきたい。
3	（濱崎委員）建設業や林業といった仕事の場合、妊娠初期の段階から現場を離れないといけなくなる。小規模な事業所の場合、期間中の事務職への配置換えも困難であり、こういった従業員を、期間限定で地域内の別事業所で受け入れてもらえるような、地域の横のつながりを生かした制度を作ることはできないかな。	【伴走支援による働き方改革の支援】（雇用労働政策課、中山間地域対策課、森づくり推進課） ・8/22、雇用労働政策課・中山間地域対策課が濱崎委員（株式会社はまさき）を訪問。 ・小規模企業や中山間地域に所在する企業向けの「働き方改革伴走支援」（専門家によるコンサルティング）事業での支援を決定。 ・令和6年度にオンライン及び対面で7回（予定）のヒアリング、助言、検討を行い、地域のつながりを生かした仕組み（ロールモデルの創出）についても検討していく。 ・妊娠時にできる代替業務や新たなスキルの習得に向けた支援の検討